

## 資料2

# 生駒ふるさとミュージアムの指定管理における基本方針

## 1 地域の特徴

生駒は奈良県の北西端に位置し、生駒山の自然と矢田丘陵に囲まれた山あいの土地で富雄川、竜田川などの水系を利用して稲作がおこなわれた農村であった。

立地は大阪、京都にも隣接し、街道が東西南北に通る要衝の地であり、生駒山を中心に点在する社寺や縄文、弥生時代から近世にいたる遺跡、行基墓をはじめとする墓群、須恵器窯などの奈良時代の遺跡も残る。原始古代から現代にいたるまで人々が生活し、生駒の歴史を営んできた。

## 2 本市の文化財行政の基本目標

生駒が歩んできた歴史を市民が共有することにより、

- ・生駒市民としての連帯感、郷土愛（地域愛）を育む。
- ・地域の歴史、文化、伝統などに触れることで心豊かな生活を送り、新たな市民文化の創造を促す。
- ・生駒の歴史特性、地域性を理解し、それらを市民と行政が協働によって活かす生駒らしいまちづくりを展開する。
- ・次代を担う子どもたちをはじめとした市民が、地域固有の歴史文化を理解することを通じて、異文化理解及び交流を含めた国際感覚を養う。

## 3 本市の文化財行政の基本方針と課題

### (1) 文化財の保存・継承・普及

文化財保護法や生駒市文化財保護条例に基づき、生駒の歴史・文化や自然を理解する上で重要な文化財の保存・継承・普及等に努める。

#### 【課題】

- ・散逸のおそれのある、生駒に関する文化財の把握と保存継承
- ・指定、登録等による文化財の保護
- ・指定文化財の修理、維持管理に対する助成
- ・生駒に関する文化財の調査研究
- ・展示や講座などの文化財の活用及び調査成果の還元、普及事業
- ・生駒の歴史に関する情報の収集及び発信
- ・学校教育における歴史学習や総合的学習への支援
- ・市民の歴史、文化財学習活動への支援

## 資料2

### (2) 埋蔵文化財の保存と開発工事との調整

埋蔵文化財の保護等に関する調整を行うとともに、遺跡や遺物を保存し、歴史文化の普及に活用する。

#### 【課題】

- ・ 市内で行われる開発工事と埋蔵文化財の保存措置との円滑な調整
- ・ 発掘調査の成果（遺跡、遺物、記録等）の保存と活用
- ・ 埋蔵文化財が発掘された身近な地域での資料展示と普及

### (3) 生駒ふるさとミュージアムの管理運営

上記(1)・(2)の本市の文化財施策をより一層効率的かつ効果的に遂行するために、生駒ふるさとミュージアムを文化財の収集、保存、調査研究、普及・活用の拠点とする。

## 4 生駒ふるさとミュージアムの位置づけと指定管理者に求めるもの

### (1) 施設の設置目的

生駒ふるさとミュージアムは、本市の文化財施策を推進する拠点として、市民共有の財産である文化財を収集、保存、継承する場であるとともに、その建物は旧生駒町役場庁舎を転用し、建物自体が本市の歴史を示す証人であり、登録有形文化財である。

施設は単に市民に開かれた展示の空間にとどまらず、本市の歴史文化に関する調査研究・普及の拠点であり、情報を発信する根幹的な役割を果たす。

生駒の歴史に関する資料を市民の利用に供するとともに、市民の郷土学習、調査研究等に資するために必要な事業を行うことで、市民文化の発展を図り、市内の文化財の愛護精神の啓発、郷土愛（地域愛）の醸成に努めるものとする。

### (2) 指定管理者の使命

指定管理者は、本市の文化財行政の基本目標を理解し、専門性と公益性を発揮して本市の歴史文化に関する資料の調査研究等を行い、必要な事業を自ら企画実施し、市民の郷土への理解を深めるために取り組むものでなければならない。

- ① 上記設置目的の実現を図るため、生駒の歴史文化に関する豊かな知識と高度の専門性を継続して蓄積し、かつ、本市に代わって業務を遂行する公益性と信頼性の確保に努める。
- ② どの世代にも通用するわかりやすい展示、身近な情報の提供、楽しく役に立つ講座、体験学習などを企画、実施するとともに、生駒の歴史文化の情報発信拠点としての役割を踏まえ、市民の学習活動への支援に取り組む。
- ③ 5カ年を計画期間とする中期計画に基づく運営を図る。
- ④ 当施設は、文化財保護法第57条の規定に基づく登録有形文化財の建造物であり、

## 資料2

昭和の近代遺産としての落ち着いた懐かしいたたずまいを大切にし、建物のファンを生み出すなど、建物の特性を活かした事業を行う。

### (3) 生駒の歴史文化についての豊かな知識と高度の専門性の維持

① 当施設の運営に当たっては、考古学、歴史学、民俗学をはじめ滅失しやすい文化財の保存についての専門知識とともに、生駒という地域の原始・古代から現在までの歴史文化とそれに関わる資料等について高い専門性が求められる。

② 専門性を維持していくためにも、文化財や歴史資料の継続的な収集・保存や調査研究の体系的蓄積、展示・普及事業の経験実績が課題となる。

これまでの事業の実績及び学術的知見の蓄積を活かすことで、文化財施策の立案や事業展開等を効率的かつ効果的に実施することができる。したがって、当施設の管理運営に当たっては、生駒の歴史に関する高度の専門的知識の保有とその蓄積が強く求められる。

### (4) 公益性と信頼性の確保

① 本市の文化財は、当施設において、多くの人々の共有財産として公益のために収集、保存し、かつ平等に公開、普及、活用されるべきものである。

② 資料の収集、保存、さらにこれらを活用した調査研究、普及事業等を行うにあたっては信頼性が不可欠であり、施設の運営主体には特定の利益や価値に左右されない公平性をもって、本市に代わって事業を遂行する高い公益性と信頼性が求められる。

### (5) 市民サービスの向上

顧客満足の視点を持ち、市民サービスの向上に努める。子どもから高齢者まで、また、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽に来館でき、歴史、文化財への関心を高める場とする。

あわせて、来館者が快適に過ごすことができ、リピーターとして何度も訪れてもらえる施設とすることが重要であり、施設における来館者へのサービスの向上に積極的に努める必要がある。

### (6) 学校教育との連携

学校教育との連携を進め、児童・生徒が生駒の歴史文化に興味を持ち、地域への愛着を深める取組の推進、館外の指定建造物などを活用した多様な学習の場の創出や体験学習等の充実を図る。

## 資料2

### (7) 市民との協働

価値観の多様化、生活様式の変化等を受け、自らの意志で学び、自主的に活動しようとする市民の意欲は益々高まっている。特に、地域の文化財や歴史について学びたい、また、ボランティアとして活動したい、さらに施設の運営に参画したいなどの市民のニーズや熱意に応えることが求められている。このような市民の活動を支援するほか、事業や運営に市民参画を進めるなど、市民との積極的な協働により新しい価値を生み出すことが求められる。

### (8) 経費の節減、収益の向上

- ① 高度の専門性や公益性が求められる生駒ふるさとミュージアムにおいても、経費の節減、費用対効果の向上の追及は不断に努めるべき課題である。
- ② 特別展示、講座等の各種事業における収入及び貸室の利用料金の増収など、収益力の向上にも努める必要がある。